

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」  
事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 茨城県 】

学校名【 石岡市立恋瀬小学校 】

1 実践テーマ	Ⅲ・Ⅴ
2 実施対象者 (学年・人数)	第3～6学年 50名 第3学年12名、第4学年19名、第5学年9名、第6学年10名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( 総合的な学習の時間、国語、学級活動 ) ② 行事名 ( ボッチャを体験しよう ) ③ その他 ( ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	○オリンピック・パラリンピックに対する興味・関心を高め、生涯を通じてスポーツや体を動かすことに親しむ児童の育成に努める。 ○パラリンピック競技であるボッチャの体験を通して、スポーツを通じたインクルーシブな視点と共生社会の構築を目指して、他者への理解、互いに支え合おうとする態度を育てる。
5 取組内容	<p>&lt;事前学習&gt; パラリンピックについて学ぼう！</p> <p>○全校：「TOKYO 2020」のTVやネット中継等観戦を呼びかけ、オリンピック・パラリンピックに対する興味・関心を高める。</p> <p>○3年：パラリンピックについて調べたことをリーフレットにまとめる。 リーフレットを昇降口に展示する。 (国語「パラリンピックが目指すもの」)</p> <p>○5年：福祉について調べる。(総合) パラリンピックやパラスポーツについて 車椅子ソフトボールを体験する。</p> <p>○3～6年：「I'm POSSIBLE」のDVD教材等を活用 アンケートの実施(学級活動)</p> <p>&lt;ボッチャ体験&gt; 全体進行：(6年生) (1) はじめのことは (4年生) (2) 講師紹介 (教務主任) (3) パラリンピックについて(講師の講話)</p>



3年リーフレット



5年車椅子ソフトボール

#### (4) ボッチャに挑戦

- ・ボッチャについて 全体で講師の先生の説明を聞く。
- ・ボッチャの練習 3、4年と5、6年に分かれて実施
- ・ゲーム 1チーム3人で編成 3、4年11チーム、5、6年7チームでトーナメント戦

#### (5) 感想発表 (6年生)

#### (6) 校長先生のお話 (校長)

#### (7) おわりのことば (5年生)



#### <事後学習>

○学年ごとに学習を振り返る。

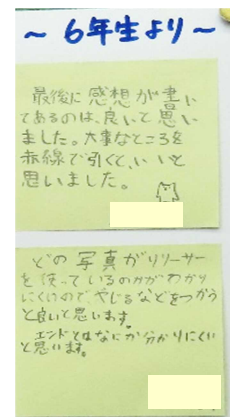
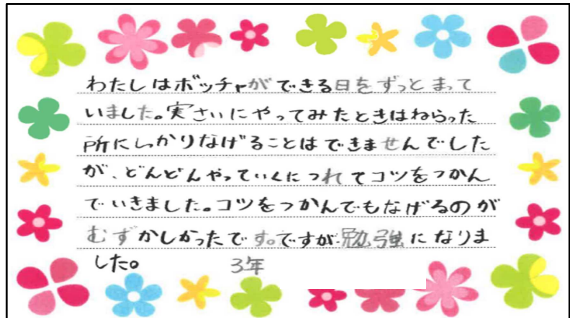
(学級活動)

講師の先生方にお礼の手紙を書き、送付する。

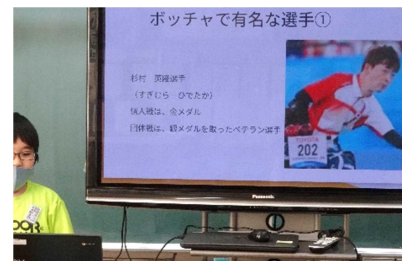
○アンケートの実施


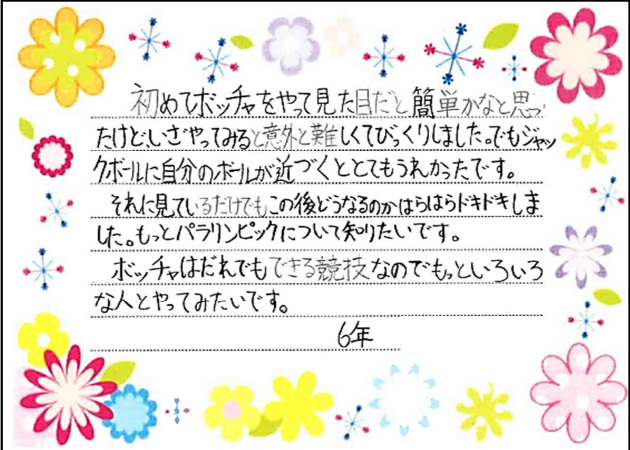
(4~6年) (学級活動)

○3年生のリーフレットに感想を記入する。(4~6年 国語)



○「福祉について調べよう」(5年総合)においてスライドを作成し、発表する。



	<p>○各学級で、ボッチャに挑戦する。(学級活動) 学年レクリエーションでボッチャ大会を行う。</p> 
<p>6 主な成果</p>	<p>○オリンピック・パラリンピックへの興味・関心が高まり、理解を深めることができた。特にパラリンピックへの関心が高まった。</p> <p>○パラリンピックの種目であるボッチャ体験を通して、その楽しさを実感することができた。また、障害のある人そうでない人など、誰でも、誰とでもできるスポーツであることを理解することができた。</p> <p>○「体の不自由な人も私たちと一緒につながることができる」「もっとパラリンピックについて知りたい」など、ボッチャ体験を終えての児童の感想から、共生社会を目指そうとする意識付けのきっかけとなった。</p> <div data-bbox="805 611 1437 1059" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <p>初めてボッチャをやってみた目と簡単かと思っ たけど色々やってみると意外と難しくびっくりしました。でも ボールに自分のボールが近づくときもうれしかったです。 それを見ているだけでもこの後どうなるかははらドキしま した。もっとパラリンピックについて知りたいです。 ボッチャはだれでもできる競技なのでも、いろい ろな人とやってみたくです。 6年</p> </div>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>○事前学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年国語「パラリンピックが目指すもの」、4・5年総合的な学習の時間「福祉教育」など、教科等横断的な活動に取り組んだ。</li> <li>・TOKYO2020オリンピック・パラリンピックの視聴を通して、興味・関心を高めた。</li> <li>・「I'm POSSIBLE」のDVDを活用して、ボッチャ競技やルール等を学び、競技の特徴や面白さをとらえることができ、体験活動に役立てることができた。</li> </ul> <p>○ボッチャ体験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボッチャ大会を開催し、全校児童で楽しく取り組んだ。</li> </ul> <p>○事後学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師の先生へお礼の手紙を書くことで、活動を振り返り、新しいスポーツとの出会いや講師の先生への感謝の気持ちを再確認できた。</li> <li>・他学年との交流学習に発展し、ボッチャ大会の開催、オリンピック・パラリンピックについて調べ、まとめたことの発表会や意見交換を行うことができた。</li> </ul>
<p>8 主な課題等</p>	<p>○講師の選定、連絡、日程調整等に時間を要した。</p> <p>○コロナ禍のため、全校児童では行えず、3～6年生の参加となった。</p>
<p>9 来年度以降の 実施予定</p>	<p>○パラリンピックスポーツに挑戦</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校児童でのボッチャ大会、その他のパラスポーツ体験の実施</li> </ul> <p>○共生社会の構築をめざして</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校児童でのアイマスク、車椅子体験や、高齢者と触れ合う活動などの実施</li> </ul>